

2015年度 学会年次総会の報告

2015年4月18日(土)春季研究大会(会場:千葉工業大学)の午後の部に於いて 2015年度の学会年次総会を開催しましたので 以下に概要を報告します。

1. 新人事体制について

①会長交代

今年度は、学会創立10周年の節目になることから、吉田邦夫会長より会長交代の意向が表明され、これを受けて小原重信副会長が新会長に就任することが承認されました。

これに伴い、吉田邦夫会長には 新たに名誉会長に就任していただく事となり、これまでの学会への多大な貢献に対して下記のような感謝状を贈呈いたしました。

吉田邦夫 殿

あなたは国際P2M学会の会長として2005年10月創設以来10年記念を迎える
今日まで永年にわたり一般社団法人化により組織充実を図り さらに学会研究の
方向性・実践書籍の発刊・韓国及びベトナムなど研究機関との国際連携を推進
されました。

その功績は誠に顕著でありました。

よって名誉会長の称号を贈りここに感謝の意をあらまします。

平成27年4月18日

一般社団法人 国際P2M学会

会長 小原重信

②小原重信新会長の抱負

社会風土に根ざした価値創造の仕組みづくりを標榜して、学際的な実践科学を追求し学会を創設し10年目を迎え、新会長就任に当たってのメッセージが発信されました。

「東洋思想に根源を持つ「知行合一」に向けて、スキーム、システム、サービスモデルにおける創造的統合マネジメントを進化させることが学会の使命でもある。長期視点でP2Mを大学におけるグローバルな正規科目に実践科学と次世代教員と創造的企業幹部人材育成が「あるべき姿」の目標である。」等々述べられていますので 是非、全文をご高覧頂きたくホームページ Menu の「会長挨拶」をクリックしてください。

2. 新理事・監事、新評議員の選任

役員任期満了に伴い、新しく下記の方々が選任されました。

理事 出口弘 (評議員より就任、東京工業大学 総合理工学研究科 教授)

理事 湯野川恵美 (評議員より就任、(株)ヒューマンシステム代表取締役)

監事 白井久美子 (評議員より就任、日本ユニシス(株)技術統括部長)

評議員 山本正毅 (株式会社日立製作所 電力システム社
スマートトランスフォーメーション推進本部 担当本部長)

評議員 和田義明 (キューピー株式会社、常務取締役)

評議員 新井信昭 (東京農工大学大学院非常勤講師、新井・橋本・保坂国際特許事務所
パートナー)

- 評議員 久保裕史 (千葉工業大学社会システム科学部 教授)
評議員 田隈広紀 (千葉工業大学社会システム科学部 助教)
評議員 武富為嗣 (理事より就任、日本工業大学大学院技術経営研究科教授
コーポレート・インテリジェンス(株)代表取締役社長)
評議員 堀口正明 (監事より就任、前帝京大学講師 講師、日本輸出入銀行(現在「国際
協力銀行」)OB)

3. 学会新ロゴマークの策定

千葉工業大学工学部デザイン科学科の協力を得て、学会ロゴマークを策定しました。

■日本語版:



■英語版:



ロゴ制作で協力頂いた下記3名の先生・学生の功績を称えて感謝状を贈呈しました。

千葉工業大学 工学部 デザイン科学科

教授 長尾 徹

千葉工業大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻

修士課程 小田 裕和

千葉工業大学 工学部 デザイン科学科

角谷 とりで

以下の感謝状は3名同文です。

千葉工業大学 工学部 デザイン科

教授 長尾徹 殿

あなたは一般社団法人国際P2M学会活動を標章するロゴ考案に多大なる尽力を行い

このたび正式に採用されることになりました。

これは今後の学会発展と普及に寄与するものでありその功績は誠に顕著であります。

よってここに感謝の意を表します。

平成 27 年 4 月 18 日

一般社団法人 国際 P2M 学会

会長 吉田邦夫



右からロゴ作成者3名(長尾教授、小田氏、角谷氏)と吉田名誉会長の写真

4. 本年度の基本方針

①学会創立10周年記念事業としての国際大会の具現化

2015年9月26日(土)設立10周年記念大会を企画、実行する。

午前は日本語による第20回秋季研究発表大会とし、午後には第3回国際大会として英語による投稿とする。開催場所は千葉工業大学の予定。

大会全体テーマは「アジア・パシフィック地域における産学官連携とプログラムマネジメント」とし、アジアから2名の基調講演者を招請する。

・フィリピン大学 Elvira Zamora 副学長

・ベトナムホーチミン大学 Nguyen Manh Tuan 副学長

②国際化と社会人向け能力資格試験の拡充、発展

国際大会を活用し受講者のプレゼンと試験をセットにして資格認定による国際化を推進する。

③会員の学位習得の奨励とインフラづくりの推進

④学会の活性化に向けた表彰制度の導入検討

5. 学会誌

論文の掲載料(現状2万円)を今年度の学会誌10巻—1号より3万円に変更することが承認された。

以上